

英語

東京大学 (前期) 1/2

<全体分析>

試験時間

120分

解答形式

記述式と客観式の併用。

分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・**変化なし**・増加) 難易 (易化・変化なし・**難化**)

出題の特徴

読解、リスニング、英作文、文法・語法の各分野から出題される。

その他トピックス

- ・ 選択問題がすべてマークシート方式になった。
- ・ 1 (B) で、記述式の設問として、語記入が出題された。
- ・ 3 は、2014 年度は 3 題が独立した問題であったが、2015 年度は、(A)(B) が連動している問題が出題された。(B) では、(A) でのみ言及されている情報を把握していないと解けない問題が出題された。
- ・ 4 (A) は、2014 年度は不要語指摘問題が出題されたが、2015 年度は、2013 年度と同じく語句整序が出題された。ただし、2015 年度は不要語が 1 語含まれていた。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1 (A)	読解総合	「リスク判断における直感と理性」 (350 words)	本文の内容や展開は比較的把握しやすいが、制限字数以内で答案をまとめるのは容易ではない。 《出典》 Jason Daley, “What You Don’t Know Can Kill You”	やや難
1 (B)	読解総合	「判断疲労について」 (633 words)	2014 年度より選択肢が長くなり、複数の文から成るものもあるため、負担が増えた。空所に単語 1 語を入れさせる問題が新しく加わった。 《出典》 Jim Tierney, “Do You Suffer From Decision Fatigue?”	標準
2 (A)	英作文	「絵の状況を説明し、それについて思ったことを述べる意見論述」 (60~80 words)	絵の状況説明は過去にも出題されたが、それについて「思ったこと」も書くことを求められたのは初めてだった。「思ったこと」として書くべき内容がやや思いつきづらい。	やや難
2 (B)	英作文	「2つの相反することわざについての意見論述」 (60~80 words)	ことわざを取り上げた設問は過去にも出題されたが、2つのことわざについて「どのように相反するか」説明したうえで、自分にとってどちらがよい助言かを、理由とともに書くことが求められたのは初めてだった。「どのように相反するか」という問いに対する答え方で判断に迷う。	やや難
3 (A)	聞き取り	「世界最大の望遠鏡」 (420 words)	客観式 5 問。放送された英文で述べられていないものを選ぶ設問が 3 問含まれている。全体の内容は把握しやすいが、設問で細かいことが問われているので、聞きながらメモを取っていないと対応しきれないだろう。	やや難
3 (B)	聞き取り	(A) に関する会話 (651 words)	3 人の話者による会話。客観式 5 問。選択肢 (5 つ) がまったく同一の設問が 2 問存在することを事前に把握し、それぞれの設問のポイントを聞き落とさないようにする必要がある。(14) は解答が決めにくい。	やや難

英語

東京大学 (前期) 2/2

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
3(C)	聞き取り	「IT革命の歴史的変遷とその功罪」 (462 words)	2014年度に出題されていた、2人の会話ではなく、講義型の問題が出題された。	標準
4(A)	文法・語法	語句整序 「アニという鳥の興味深い子育て」 (266 words)	設問により、取り組みやすさに差がある。(ウ)は in existence を思いつくかどうかのポイント。《出典》W. Barksdale Maynard, "Survival of the Cooperative"	標準
4(B)	英文解釈	下線部和訳 「米軍兵士となったナバホ族の男達の経験」 (330 words)	(ア)の could almost taste を訳すには工夫が必要。また、ここで使われている harsh は「不快な」といった意味であるが、受験生には難しいだろう。《出典》Sally McClain, <i>Navajo Weapon: The Navajo Code Talkers</i>	標準
5	読解総合	「母と娘の複雑な感情」 (940 words)	記述解答問題(和訳)が2題出題されたが、例年と比べ、かなり長いものになっている。《出典》Joan Wickersham, "The Tunnel, or The News From Spain"	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- 東大は、設問形式に毎年のように変化があり、2015年度と同形式の設問が来年度も出るとは限らない。よって、過去の多様な形式を踏まえて、さまざまな設問に取り組み形式の変化に対応できるようにしておく必要がある。東大英語の攻略には全般的に以下のような対策をとっておかなければならない。
- 読解に関しては、設問形式にある程度の変動はあるものの、「文脈把握力」を主に要求している点では、根本的な部分に変わりはない。難解な構文を読み解き“解釈”する作業よりも、要求された課題を念頭に置いて、一定以上のスピードで英文を読み解き、必要な情報をまとめる練習が有効である。また、日本語表現能力を高めることも怠ってはならない。
- 作文に関しては、基本的な知識の正確な運用が求められている点は変わらない。今後も形式やレベルの変動があることは予想されるので、多様な形式で練習を積み、添削指導を受ける必要がある。また、年度によっては語彙に関する設問が出題されることもあるので、語彙力の養成もしておくべきだ。
- リスニングに関しては、過去問を中心に、基本的な聞き取り能力を養い、同時に「聞きながら推論する」力を養うように心がけるべきである。また、リスニング力の向上につながるので、書き取りの練習も積んでおくとよいだろう。